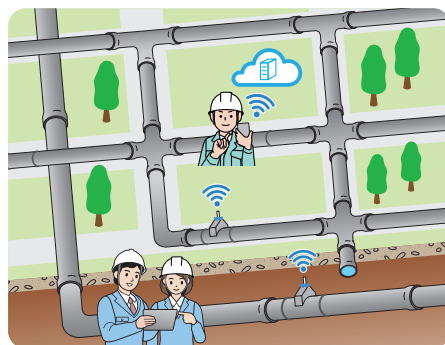


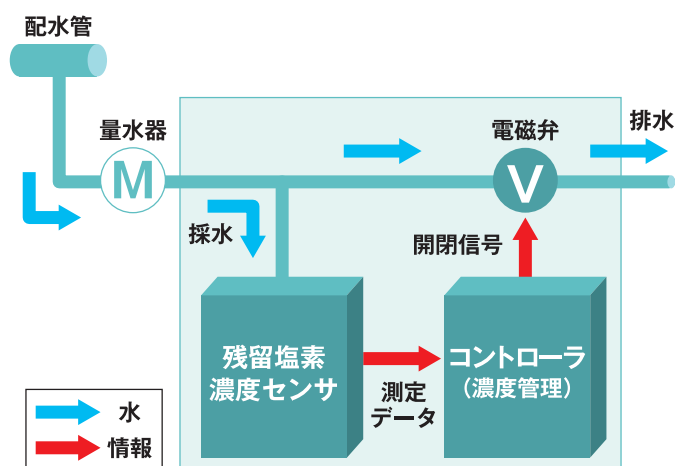
配水管路における 残留塩素濃度管理のための効率的排水システム

配水管路における

「残留塩素濃度の適正な維持」
「排水量の削減」
「職員の業務負担軽減」のため、
自動で排水を行う技術をご提案します

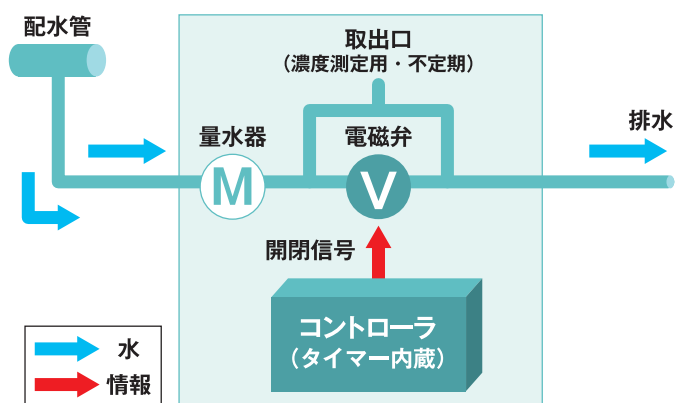


① 残留塩素濃度の測定結果に 基づき制御 タイプA



- ・ 水道管路末端等の配水管から分岐して採水し、残留塩素濃度センサにより、一定間隔で残留塩素濃度を測定
- ・ 残留塩素濃度の管理下限値を下回ると、コントローラから信号を送ることで電磁弁を自動で開いて排水、管理上限値を回復すると電磁弁を閉じて排水を停止

② 排水時間をタイマーにより 制御 タイプB



- ・ 管体情報(内面塗装等)、管路水理(水量・水圧等)及び水質情報(残留塩素濃度・水温)をもとに初期排水条件を決定
- ・ 電磁弁の開閉をタイマー設定し排水制御
- ・ 制御開始後、残留塩素濃度を確認し排水条件を調整。また、水温変化に応じて排水条件を変更し、残留塩素濃度を維持

タイプA・タイプBの比較例

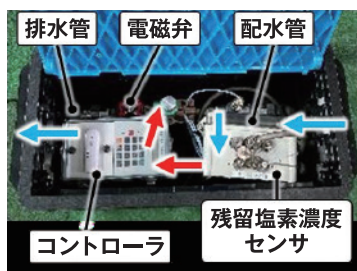
項目	タイプA	タイプB
排水制御方法	残留塩素濃度の測定結果に基づく制御	タイマーによる制御
設置環境	量水器ボックス、バルブボックス内に設置可能	量水器ボックス、バルブボックス内に設置可能
事前確認	不要	必要(排水制御に必要な管路情報)
通信機能	あり	なし



各タイプの仕様

タイプA

制御方法	残留塩素センサ
排水呼び径 (mm)	20・32・50
通信機能	有り
電源・連続稼働時間	電源：バッテリー (7.4V 128Ah) 連続稼働時間：30日 (測定間隔5分)
防水性	電磁弁：水没不可 センサ、コントローラ：1m水深の水没可
メンテナンス頻度	残留塩素濃度センサの校正：1回/月 バッテリー交換：1回/月 センサの点検※：1回/年 (※のみメーカー、その他は事業体で実施)



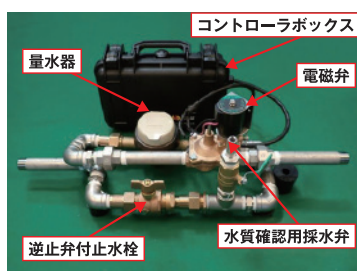
< 機器構成 >



< 機器設置事例 (左：専用ケース内 右：量水器ボックス内) >

タイプB

制御方法	タイマー
排水呼び径 (mm)	20
通信機能	無し
電源・連続稼働時間	電源：アルカリ乾電池 (9V角型 6LR61) 連続稼働時間：約1年間
防水性	電磁弁、コントローラ共にIP67相当 ※最大1m水深の一時的な水没可
メンテナンス頻度	排水条件設定変更：1回/6ヶ月 バッテリー交換：1回/年 電磁弁分解清掃：1回/年 ストレーナ清掃 (濁質多い時)：1回/2-3ヶ月 (全て事業体で実施)



< 機器構成 >



< 機器設置事例 (左：バルブボックス内 右：量水器ボックス内) >

(ご参考) 必要設置スペース

	量水器ボックス	バルブボックス	専用ケース
タイプA	W560×D320×H400以上	Φ600×H500以上	W570×D270×H500以上
タイプB	W470×D260×H330以上	Φ600×H400以上	

詳しい内容は当協会ホームページをご覧ください。技術説明会も行いますので、各支部までお気軽にご相談ください。

日本ダクティル鉄管協会 残留塩素濃度 システム

検索

北海道支部 〒060-0002
東北支部 〒980-0014
本部・関東支部 〒102-0074
中部支部 〒450-0002
札幌市中央区北2条西2丁目41番地
仙台市青葉区本町2丁目5番1号
東京都千代田区九段南4丁目8番9号
名古屋市千代田区名駅3丁目22番8号

TEL. (011) 251-8710
TEL. (022) 261-0462
TEL. (03) 3264-6655
TEL. (052) 561-3075

関西支部 〒542-0081
中国四国支部 〒730-0032
九州支部 〒810-0001

大阪市中央区南船場4丁目12番12号
広島市中区立町2番23号
福岡市中央区天神2丁目14番2号

TEL. (06) 6245-0401
TEL. (082) 545-3596
TEL. (092) 771-8928